

特集! 私たちが、まちを守る



今回の特集では、火災や災害時に私たちを守ってくれる消防士と消防団それぞれの活動と活動に対する思いを紹介します。

命を守る消防士たち

火災や自然災害などが起こるなかで、一人でも多くの命を守るために全力を尽くす消防士たち。大垣消防組合は現在、1消防本部・3消防署・3分署・1分駐所で構成され、237人の職員が日々、消火や救助を行うほか、訓練や地域への啓発を行い、いざというときのために備えています。

ここでは、現場で活躍する女性消防士の声と、意外と知られていない消防士の日を紹介します。

■ 消防士の一日に密着

消防士の人たちは、現場での災害出動のほかに、さまざまな業務を行っています。皆さんに消防士の仕事を知っていただくために、大垣消防組合中消防署の一日に密着してきました。

8:30 引き継ぎ交替



毎朝、前日の当番職員と交替し、前日の業務についての連絡事項を引き継ぎます。

8:45 車両・資機材点検



配置されている車両、積載されている資機材や個人装備などに異常がないか点検します。

10:00 事務作業



届出の対応や消防用設備の相談など、それぞれが担当している業務の事務処理などを行います。

13:00 訓練



どのような災害が起きても対応できるように、消火訓練や救助訓練などを行います。

17:15 夕食・休憩



夕方の休憩には、お弁当や出前を注文して食事をとりますが、この日はみそ汁も作りました。

20:30 自主訓練



過酷な災害現場での活動にも耐えられるように、体カトレーニングを各自で行います。

24:00 仮眠



仮眠中も指令があればすぐに出勤できるように、活動服のまま、交替で仮眠をとります。

8:30~翌8:30 通信指令室



市民からの119番通報を受信し、通報内容を正確に聞き取り、消防車や救急車を出動させています。

3月1日~7日 春の全国火災予防運動

「おうち時間 家族で点検 火の始末」を統一防火標語に、春の全国火災予防運動が、3月1日から7日まで全国一斉に展開されます。3月は空気が乾燥し、風の強い日も多く、火災が発生しやすい時期です。火災を未然に防ぐために、火を使うときはその場から離れないことや、家の周囲に燃えやすいものを置かないことなどに注意しましょう。

また、火災に早く気づき、初期消火や速やかな避難ができるように、住宅用火災警報器を設置し、定期的な点検も習慣づけるようにしましょう。

詳しくは、消防本部予防課 (☎87-1512) へ。



大垣市議会議員賞・金森文那さん (興文中学校1年) の作品

女性消防士へのインタビュー

「私にしかできない消防士になる」

私自身、高校生のときに交通事故に遭い、救急隊員に助けもらった経験があり、女性の目線から災害への対応や人命救助など、きめ細やかな対応ができるのではないかと思います。消防士を目指しました。

消防士は、過酷な現場でも迅速かつ確実な活動ができるように、日々の業務とともに、さまざまな訓練を行っています。

救急現場では、女性隊員がいることで、傷病者の不安と苦しみを少しでも和らげることができるように接しています。

私たちの仕事は、火災や災害の現場から、地域住民の命と安全を守ることです。人の命を守りたい・救いたいという思いを持っている方は、ぜひ社会に貢献できる消防士と一緒に目指しましょう。



一人でも多くの命を助けるために

中消防署 予防担当 安田 汀さん

職員自作のPR動画を公開!

大垣消防組合では、消防士の仕事をより直感的でわかりやすく紹介した「大垣消防PR動画」を職員が自ら作成しました。動画配信サイト「YouTube」で視聴できますので、ぜひご覧ください。



視聴はこちらから